

品川区の桜の開花と満開

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年04月07日

今年の東京の開花日は3月23日（月）で、平年より3日早く開花しました。靖国神社境内にあるソメイヨシノの標本木で、5～6輪以上の花が開いた状態になった時を東京の開花日としています。

写真（左と中）は開花日の翌日24日（火）の午後2時頃に撮影したのですが、10輪ほど咲いていました。当日の最高気温が15.1℃、最低気温が3.9℃とやや寒かったため、桜のつぼみが、開こうか開くまいか迷っているようでした。

（*写真をクリックすると拡大します）



満開（同標本木）は3月29日（日）で、開花してから6日後でした。通常開花してから1週間で満開になると言いますので、ほぼそうなったわけです。なお、満開とは、標本木で80%以上のつぼみが開いた状態としています。右上の写真は3月31日（火）の昼頃に撮影したのですが、満開（100%近くが開花）でした。

一方、品川区内では靖国神社より少し遅かったようです。

区内在住の殿塚忠男様から、「勝島運河のソメイヨシノの本数は少ないですが・・・28日（土）はつぼみでしたが、30日（月）は七分咲きでした」とのコメントとともに、写真を送っていただきました。この時期の勝島運河（花海道）では、桜と菜の花を一緒に観ることができます。環境記者の真壁美枝子様からは、4月2日（木）ご自宅のバルコニーから撮影したしながわ区民公園（水族館付近）の満開の写真をいただきました。



勝島運河／3月30日（月）

東品川海上公園は五分咲き／3月30日（月）



しながわ区民公園（勝島の海・水族館付近）／4月2日（木）



4月2日(木) しがわ中央公園では青空の下、家族連れが満開の花見を楽しんでいました。

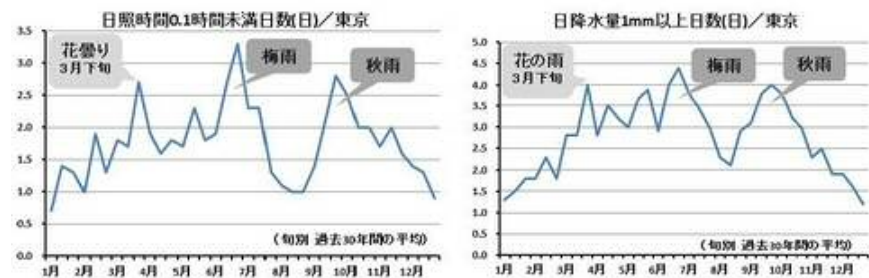


4月2日(木) かむろ坂(上左写真)、西小山駅近くの立会道路(上右写真)も満開でした。

ここでご紹介したソメイヨシノの開花・満開は、靖国神社より少し遅いようでした。

さて、この時期、青空の下で花見をしたいのに雲が邪魔をすとか、雨が降るといったことが多いように思いませんか？気象庁の記録を見てみましょう。

3月下旬の東京は、梅雨時期、秋雨時期に次いで「花曇り」や「花の雨」が多いという記録がありますので、単に感じだけではありませんね。



桜は毎年ほぼ同じ時期に開花しますが、これは自然の摂理というものでしょうか。一説(「600度の法則」)によると、2月1日から毎日の最高気温を足していった累計が600℃になると開花すると言われています。私たちに本格的な春の到来を体感させてくれます。

しながわ区民公園で‘みどりと花のフェスティバル’開催

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年04月28日

4月25日（土）、26日（日）の二日間、しながわ区民公園で‘みどりと花のフェスティバル’が開催され、多くの区民が暖かな春の一日を楽しみました。工作コーナーでは、公園の剪定枝を使ってオリジナル小物を作りました。材料の剪定枝は大中小いろいろあり、ボンドで接着した後、絵の具で思い思いにデザインした作品作りです。不要になった材料を使っての工作を親子で楽しんでいました。

多くの家族の参加があり、4点に「優秀作品賞」が授与されました。



工作材料いろいろ



フェスティバルでは、工作以外にも様々なコーナーがありました。



フラワーアレンジメント教室

園芸土の配布（25日）

パターゴルフ

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年04月28日

二つの海洋島 (7) 小笠原諸島3 島内の案内

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年05月19日

2013年秋、小笠原へ行ってきたと友人たちに話したら、「30年前に家族旅行で行きました」「18年前に夫と行ってきたわ」。所要時間はどちらも28時間、初代おがさわら丸の乗客であった。現在は2代目、東京・芝浦から25時間半で父島に到着。運行は年間70便。3代目の建造が予定されている。2016年度就航。所要時間は24時間に短縮される。

小笠原は1000㎞離れているが、まぎれもなく東京都。車のナンバーは「品川」、雨水と汚水の分流による下水道完備、ごみ処理は焼却炉が稼働し、さらに収集の形態も同じであった。

(クリックすると拡大します↓)



停泊中のおがさわら丸



イルカがあしらわれたマンホールのふた。左：雨水 右：汚水



ゴミ収集中



最終処分場



稼働中の浄水場（厩浦）



建設中の浄水場（標高 50m）

●世界自然遺産としてだけでなく、様々な歴史もたどることができる。



ペリー来航（1953年）記念碑



厩浦からたどる島の歴史



戦跡 厩浦 座礁した輸送船・浜江丸

●小笠原の植物 ピックアップ



ビョウタコノキ（雄花）大根山 ムニンアオガビ（固有種）電燈山遊歩道 シマザクラ（固有種）中央山 スナヅル（寄生植物）小港海岸

環境省環境カウンセラー 倉田智子

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年05月19日

春の花海道

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年05月20日

昨年新しく作った花壇の菜の花と桜が同時に咲いて素敵でした。



一昨年に植えた芝桜もしっかりと根付いて、幅50cm、長さ800mの帯状に長く、色鮮やかに花海道を演出してくれました。冬になると枯れてきますが、切ったり抜いたり、絶対にしないようにしましょう。



昨年の秋のコスモスです。

6月14日（日）にコスモスの種まきが予定されていますが、秋にはこんなきれいなコスモスが見られることでしょう。




カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年05月20日

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年05月26日

(クリックすると拡大します)

<p>2015年度 Vol.2 平成27年5月1日 発行： 特定非営利活動法人 エコタウンしながわ 品川区広町2-1-36 電話：03-5742-6533</p>	
<p>1. 環境問題とどう向き合うか</p> <p>経済活動がグローバル化している昨今では、企業を見る社会の目は(全世界の消費者の目)、各段に厳しくなっています。またこの視点は個別企業の活動だけでなく、サプライチェーン全体の企業活動に監視の目が向けられてきています。</p> <p>環境問題とは、従来は公害問題として、比較的地域限定の、原因の特定が容易な問題でしたが、経済規模が全世界へと拡大し、大量生産、大量消費のエネルギー並びに資源、多消費型経済となり、影響が国境を越え地球規模になってきており、対応が一国で対応できない、問題となってきました。</p> <p>このうち最大の問題として認識されているのが、地球温暖化問題です。温暖化により、異常気象、海面上昇、他が引き起こされ、人類の生存をおびかすので、早急に対策を打つべきとする説(主として先進国)と、温暖化対策をやると経済の停滞を招き、別のリスクを引き起こすので、慎重に検討すべきとする説(発展途上国)に分かれ、効果的な対策を打てずにいるという状況です。</p> <p>しかし現実問題として、世界の平均気温は上昇し、その影響は全世界で確実に顕在化しています。</p> <p>また温暖化問題は極めて倫理的な問題といわれています。理由は深刻な被害をうけるのは、自分たちでなく、次世代の子孫たちだからです。このことから環境問題への対応は、自己実現レベルの欲求問題といえます。</p> <p>このような状況のなかで、個別企業の取り組みとしても、温暖化の原因物質の一つとされるCO₂削減の取り組みはできる範囲で活動していくことが必要と考えます。</p> <p>2. EA21のしくみを経営改善にどう活かしていくか (トップダウンアプローチとボトムアップアプローチ)</p> <p>前号で、自社を取り巻く環境変化、顧客、リスクとチャンスについて考えてみましたが、今回は、把握したリスクとチャンスを経営改善の実行計画にどう落とし込んでいくかを考えてみましょう。</p> <p>EA21のしくみの中では、実行計画策定のための分析ツールとして、トップダウンアプローチの為の「取り組みの自己チェックシート」とボトムアップアプローチの為の「負荷の自己チェックシート」というシートを用意しています。</p> <p>それぞれの自己チェックシートの活用方法は、以下です。</p> <p>⇒「取り組みの自己チェックシート」 トップマネジメントが自らの目指す方向を描いて、その実現に向けてどう実行していくかのアプローチに活用していくものです。 トップ自らの思い、夢を描いてそれに向け、いまの自社の状況を把握して、目標の実現を目指していくものです。</p> <p>⇒「負荷の自己チェックシート」 現状までの活動実績を分析し、その結果を分析し、改善していこうとする分析ツールです。</p>	

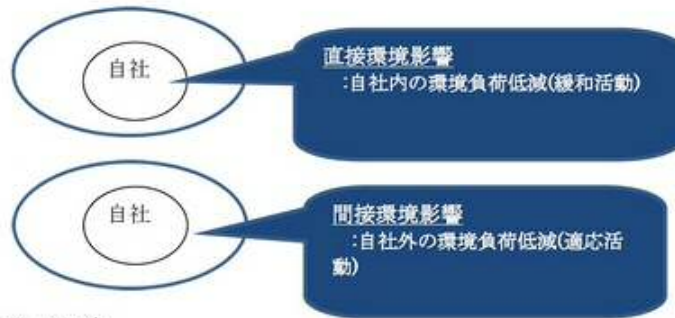
1)環境活動の取り組みの考え方

自社の事業活動がエネルギー多消費型か、そうでないかにより活動を、直接影響への取り組みを重点としたものとするか、間接的に影響を及ぼすことのできる活動を重点とするか、検討したほうがよいでしょう。

また、活動の切り口としては、環境影響を緩和する取り組みに視点をあてるか、環境影響に適応していく活動に視点をあてるか、多面的に考えることで活動の幅を広げることが出来るでしょう。活動例を以下に示します。

視点例：新しい顧客価値、社会価値の創造は何か

- ・社会インフラの老朽化(道路、水道、高齢者施設、他)
スマート電力、スマートウォーター
- ・高齢化
介護ロボット、他



2)経営改善ツール紹介

SWOT 分析の活用

機会 Opportunity	脅威 Threat
強み Strength	弱み Weakness

図1

	O 機会	T 脅威
S 強み	事業チャンス	強みを活かして脅威を回避してチャンスをつかむか
W 弱み	弱みを補強してチャンスをつかむか	弱みから最悪撤退まで考える

図2

SWOT 分析

自社の「機会」・「脅威」、「強み」・「弱み」の4つの要素を分析することで成長戦略やマーケティング戦略を創出します。

4つの要素は、事業の外部環境と内部環境に分けて分析していきます。外部環境とはマクロ分析の政治的動向、経済的動向、社会的動向、技術的動向等、ミクロ分析は、大きく市場と競合に分けられます。対象になる市場規模、成長性、競争状況、顧客動向等があります。これらを分析して、自社に対する「機会と脅威」を確定します。内部環境分析は、経営資源と経営能力、マーケティング能力等です。分析して、自社の「強みと弱み」を確定していきます。

SWOT 分析の進め方

1. 4つの要素 (SWOT) の確定
 - ・外部環境を分析して「機会と脅威」、内部環境を分析して自社の「強みと弱み」を確定します。図1
2. 4つの要素のクロス分析
 - ・機会と「強みと弱み」のクロス分析から、自社の実行、補強等の内容を決めます。脅威と「強みと弱み」のクロス分析から、自社が補強、回避、撤退等の内容を決めます。図2
3. 上記の分析より、自社のポジションマップを作成して、自社の成長戦略等を策定します。

3. 区の施策紹介

品川区では、国家戦略特区の指定を受け、2015年6月には、大崎に研究開発の促進、新事業の創造、それらに対応できる人材の育成を目指す、産業支援交流施設をオープンさせ、新たなイノベーションシティを目指しています。環境面の活動は長期環境計画に基づいて引きつづき各種施策を実施しています。

1) 第二次品川区環境計画について

- ・計画期間：平成25年度～平成34年度
- ・基本目標：低炭素社会の実現、循環型社会の実現、他
この中で、事業者様に関係するものは以下があります。
 - ・省エネ、節電、再生可能エネルギー推進(低炭素社会の実現)
 - ・廃棄物抑制、リユース・リサイクル推進(循環型社会の実現)
- ・共通目標：環境教育・環境コミュニケーションの充実
この中で、事業者様に関係するものは以下です。
 - ・事業者との協働(パートナーシップによる活動推進)

2) 環境課活動紹介

環境課では、上記計画実現のために種々の取り組みを行っています。事業者様に関係するものは以下です。

- ①再生可能エネルギーの導入促進
- ②環境コミュニケーションの充実

3) 区の環境関連助成制度紹介

区の環境関係にかかわる、施策は以下のものがあります。

●新製品・新技術開発支援

平成27年度成長産業支援は新製品・新技術開発支援事業に統合されました。

助成限度

成長産業分野(環境負荷低減、他)に対し、上限500万円

対象経費の2/3

その他、以下のサービスが提供されております。詳しくは区のホームページ、あるいは担当課へ直接お問い合わせください。

- ・ISO認証取得支援事業
- ・EA21認証取得支援事業
- ・エコパワーカンパニーの募集
- ・太陽光発電システム設置支援助成事業
- ・低公害車買替え支援事業
- ・事業所用LED照明設置費用の一部助成
- ・屋上緑化等助成制度

情報入手方法

品川区ホームページ⇒環境・まちづくり(画面上段、右)

⇒環境

⇒お知らせ

- ・環境 ⇒ ・環境課の新たな取り組みについて
- ・助成・支援 ⇒環境ビジネス支援
- ・成長産業支援
- ・環境情報活動センター

4. 区内取り組み事業者訪問(エコタウンしながわ企業訪問)

平成24年にエコアクション21(以降EA21)を取得された、油圧機器の輸入販売をされているTOHTO様を訪問し、取締役社長 野澤様とエコアクションご責任者の大原様にお話を伺いました。

EA21取得後、社員の皆さんは日々の業務を遂行する中で、各人が省エネ意識を高く持ちCo2削減に取り組まれています。品川本社に営業技術部、総務部等があり、また静岡県御殿場に工場を保有しておられ、それぞれの部署の方が、それぞれができる省エネに取り組まれています。例えば、オフィスでは、電気は小まめに切り、クーラーの設定温度を遵守し、工場では、使用していない機械、設備の電気は入れず、使用するエリアだけの電気をつけて作業されています。また、省資源で仕事を進める努力もされ、廃棄物やゴミの発生量を低減すると共に、節水にも努め、排水量を低減されています。

環境意識の高さは、EA21を取得するに当たっての活動を通じ、全社員で意識を共有したことと、取得後も、野澤様や大原様による継続的な行動方針徹底の呼びかけをしてきたことによります。

今後も、社有車のディーゼル車への転換や、物流体制の見直し等を行い、積極的に環境改善に努められるそうです。環境に優しい企業に、全社一丸となり取り組まれている様子が伺え、今後のTOHTO様に更なる期待が持てる訪問となりました。

訪問記事：野口 栄美



事務局からのお知らせ

▶ 本会報の編集委員募集

年2回、会報を発行する予定です。

つきましてはその編集委員を募集します。

(‘特定非営利活動法人エコタウンしながわ’の会員になっていただくことが前提です)
ご希望の方は事務局までご連絡ください。当面はボランティアとします



編集後記

品川区は国家戦略特区の指定を受け、新産業・新ビジネス創出、他新たなステージ向け踏み出しています。6月には、大崎に産・学・公の産業交流施設もオープンします。エコタウンしながわも環境経営の視点より、みなさまとの双方向情報交換につとめ、内容を充実させていきたいと思っています。

発行・編集：特定非営利活動法人エコタウンしながわ

発行日：平成27年5月1日

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年05月26日

平成27年 品川生き物歳時記1

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年06月03日

品川区二葉にお住いの林悦明様からご投稿をいただきました。

本日（5月25日）は初夏と呼ぶに相応しい日和でした。若葉のこずえ越しに垣間見る青空はいつか見た懐かしい青色でした。時より吹き抜ける風も心地よかったです。

この冬は長くてとても寒かったのもう少し春を味わいたかったのですが。

オオムラサキの幼虫



オオムラサキ





オオムラサキが羽化致しました。少し風が強いですが、品川の空に飛ばたていきました。東京の空で独りぼっちですね。すぐに仲間を放てるでしょう。

(以下、事務局より)

街中では目にする機会が少なくなったオオムラサキですので、大きな写真をご覧ください。

カテゴリ: 平成27年度

投稿日: 2015年06月03日

平成27年 品川生き物歳時記 2

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年06月16日

今年もホタルの季節がやって来ました。ゲンジボタルの成虫は年一度、今の時期2週間程飛び交っています。横浜市川崎市でも沢山生息していますが、現地の方も気が付かないうちにシーズンが終わってしまう事が多いようです。桜のように毎年発生時期が変わるからです。二廻り小さいヘイケボタルはお盆の頃まで、さみだれのように発生し続けています。小さな湧水のある場所で普通にみられます。行楽の折は里山へ足を運んでみてはいかがでしょうか。





ホタルは意外とどこにでも見られる昆虫です。いなくなった地域でも湧水とエサがあればすぐに戻ってきてくれます。そのような環境とそれを大事に思っておられる子供達を育てて行きたいものです。

大井の小野学園自然再生観察園様では、5月30日-31日に一般公開を実施し、ホタルの飛び交う様子を3000名強の方に見ていただくことができたそうです。しかし、現在は飛翔していないため、また来年、多くの方に飛翔の様子を見ていただければと思いますとのこと。

品川区二葉 林悦明様より

カテゴリ: 平成27年度

投稿日: 2015年06月16日

気象・環境ビジネスセミナーを聴講してきました

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年07月28日

平成27年7月22～24日、東京ビッグサイトで開催されていた「気象・環境テクノロジー展」ビジネスセミナーの聴講報告です。



【◆】防災、災害から身を守る、情報を活かす（気象庁総務部参事官・防災担当 永井章氏）

日本は「災害大国」で、地震・津波、火山、風水害（台風・豪雨）、雪害などの自然災害により、多数の死者・行方不明者を出している。

(1)地震・津波災害

- ・ビルの倒壊、斜面崩壊、住宅倒壊、液状化などが発生する。
- ・防災情報として、地震発生後、数秒から十数秒後に緊急地震速報が、2～3分後には津波の警報や注意報が、その後も地震速報、地震情報が発表される。
- ・これらの災害から私たちが身を守るために知っておくべきことは、気象庁や自治体などのHP・リーフレット、ビデオを活用することである。例えば、自治体のハザードマップを入手する。

品川区の浸水ハザードマップ：

<http://www.city.shinagawa.tokyo.jp/hp/menu000021000/hpg000020939.htm>

(2)火山災害

- ・平成26年9月27日、御嶽山の噴火後、今年5月18日より、「噴火警戒レベル1」（噴火予報）の呼称を「平常」から「活火山であることの留意」に変更された。「平常」では「安全だという誤解につながる」という声が上がったためである。
- ・平成27年8月上旬からは、登山者など、火山に立ち入っている方が命を守るための行動を取れるよう、「噴火速報」を新たに発表することになっている。この情報はテレビ、ラジオ、防災行政無線や携帯端末などで入手できる。

(3)気象災害

- ・洪水害、土砂災害、台風による暴風波浪害、急な大雨による水害、雪害、竜巻による建物等の破壊
- ・平成26年8月豪雨（広島市での土砂災害）・・・集中豪雨が狭い地域で数時間継続したが、予想困難

数百km程度の領域のどこかで大雨になる予測はできるが、さらに絞り込んで、「いつ、どこで、どの程度」の現象になるかを予測するのは困難。

- ・降水の発生を予測する場合、現象の発生1時間先までは「ナウキャスト」が、6時間先までは「降水短時間予報」が発表される。気象庁のHPでは様々な情報が提供されている。

身を守るための情報を「活かす」ことが大切で、何も起こらなければ「良かった」と思ってほしい。

(4)聴講を終えて

「50年に一度の…」、「異常気象」という言葉を耳にすることが多くなっています。予想できない自然現象に対する備えは、私たち自身がしなければなりません。今日では非常に多くの情報が提供されています。それらを利用して万に備えたいものです。

【◆】気候変動リスクと人類の選択

(国立環境研究所 地球環境研究センター 気候変動リスク評価研究室長 江守正多氏)

気候変動に関する政府間パネル（I P C C）第5次評価報告書の主執筆者である江守氏から、地球温暖化の基本的な話と、報告書のエッセンスを聴くことができた。

(1)地球温暖化のしくみ

もし温室効果がなかったら地球の平均気温は-19℃に、それがあるので14℃程度に保たれている。しかし、それが強まると14℃以上になってしまう。温室効果ガス濃度の上昇と世界平均気温の上昇とは関係がある。海面水位は20世紀に急激に上昇している。

(2)人為起源の温室効果ガスの排出は、他の人為的要因と併せ、20世紀半ば以降に観測された温暖化の支配的な原因であった可能性が極めて高い。

(3)100年後の世界平均気温の上昇量（2081~2100年）は、最も温暖化が進んだ場合には2.6~4.8℃の上昇が、最も温暖化を抑えた場合でも0.3~1.7℃の上昇の可能性が高いという予測がなされている。

一方、海面水位の上昇については、最大限の努力で気温上昇が止まっても、海面水位は上昇する。

(5)極端現象の過去および将来の変化（可能性や確信度の違いはあるが）

・ほとんどの陸域で、寒い日と寒い夜の頻度の減少と昇温、また暑い日と暑い夜の頻度の増加と昇温

- ・ほとんどの陸域で、継続的な高温／熱波の頻度や持続期間の増加（将来の変化）
- ・大雨の頻度、強度、大雨の降水量の増加
- ・干ばつの強度や持続期間の増加
- ・強い熱帯低気圧の活動度の増加
- ・極端に高い潮位の発生や高さの増加

(6)8つの主要なリスク

◆海面上昇 ◆洪水 ◆台風など ◆熱波 ◆食料不足 ◆水不足 ◆海の生態系の損失

◆陸の生態系の損失

(7)気候変動対策の長期目標

産業化以前からの世界平均気温の上昇を2℃以内に収める観点から、温室効果ガス排出量の大幅削減の必要性を認識する。

(8)「2℃以内」目標を達成する排出削減経路

今世紀前半：世界全体の排出量を現状に比べて2050年までに半減程度

今世紀後半：世界全体の排出量をゼロかマイナスに

(9)気候変動関連リスクを「全体像」で捉えると、気候変動による悪影響がある一方、好影響もある。

対策の悪影響もあれば、好影響もある。

それらの影響の出方は、国、地域、世代、社会的属性によって異なる。

(10)聴講を終えて

I P C C 第5次評価報告では、20世紀半ば以降の温暖化は、人為的要因である可能性が極めて高いとしています。私たち個人の力で解決できる問題ではありませんが、実態を理解することの大切さを感じました。

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年07月28日

荏原中延・昭和通りの「夕市」で「打ち水大作戦」開催

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年08月11日

8月1日（土）荏原中延・昭和通り商店会において、毎月第一土曜日に開催されている「夕市」の中で、午後5時から「打ち水大作戦」が行われました。

昭和通り商店会のマスコットキャラクター‘しょうちゃん’も子どもたちと一緒に打ち水に参加しました。‘しょうちゃん’を真ん中に打ち水の開始です。

打ち水をする前と15分後の気温は、地上約1mで33.0℃から32.5℃へ0.5℃下がりました。下がった温度は僅かでしたが、風が涼しく感じました。

また地面の温度は43℃前後から38℃へ5℃ほど低下しました。午後2時頃はたぶん50℃くらいだったと思います。午後5時過ぎという時間は打ち水を行うには適した時間帯で、その後も涼しさを感じる事が出来ました。

打ち水にはルールがあることをご存知ですね。それは水道水を使わないことで、雨水や風呂の残り湯、子ども用のプールの残り水などの二次利用水を使うことです。水道水を使わない理由は、水道水が蛇口に届く前に多くのエネルギーを使っているためでもあります。



カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年08月11日

“ワークショップコレクション”に行ってきました

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年09月04日

第11回目の“ワークショップコレクション”が、8月29日(土)、30日(日)に渋谷で開催されており、見学してきました。このイベントには、子どもの創造力や表現力を刺激する約150のワークショップが全国から集合していました。

「ビルいっぱいラクガキ!」、「デジタル最先端!未来の学びを体験」、「2020年をさきどり!未来のスポーツ大集合」等々。子どもには魅力いっぱいです。



環境関連では、南極と南極のいきものについての話、廃材やLEDを使った様々な工芸があり、多くの子ども、親子が参加していました。私は南極テーマのワークショップに参加しました。

南極地域観測隊に4回参加した講師が、南極という地域について、またそこにすむ動物（ペンギンなど）について、楽しい話を聞かせてくれました。

- ・南極の氷が溶けたら海面はどれくらい上昇するの？北極の氷の場合は？
- ・南極では猛烈な台風並みの風（ブリザード）が吹いていますが、その実体験もしました。
- ・南極の氷は、通常私たちが見る氷と違って、氷の中に泡が見えました。これは氷ができたときの大気が氷に閉じ込められたものだそうです。氷に水を注ぐと、氷が溶ける時にこの泡がブツブツと音を立てるのが聞こえました。
- ・ペンギンの「家」、ペンギン同士の戦いなど・・・楽しい話がいっぱいでした。



南極テーマ

別のコーナー

次回は1年先になりますが、参加されてはいかがですか。

(取材 環境情報活動センター)

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年09月04日

緑のカーテンから収穫

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年09月04日

品川区西大井にお住いの森田様から、緑のカーテンとゴーヤの収穫、佃煮作りについてのお話をお聞きました。



森田家では毎年自宅の南・東の2面に緑のカーテンを作っており、いっぱい実ったゴーヤのカーテンで今夏の猛暑をしのぎました。収穫したゴーヤは、8月末でなんと786本、重さは110kgを超えました。約2割を知人に差し上げ、3割は自家消費し、残り5割は佃煮にして殆どはまわりに配りました。10月初めの蔓たぐりまでに収量は1000本を超えるそうです。

以下は佃煮の作り方です。

【佃煮材料】ゴーヤ：1kg、黒砂糖：250g、しょうゆ：160cc、みりん：120cc、酢：120cc

白ごま、かつお節、ちりめんじゃこ：適量

- (1)ゴーヤの種とわたを取り1cm幅に切り、沸騰したお湯で2～3分ゆで、そのまま1時間くらい放置する。
- (2)ゴーヤを水の中に入れて冷まし、固く絞って黒砂糖、しょうゆ、みりん、酢を加え、時々かき混ぜながら煮詰める。
- (3)ほどよく煮詰まったら、白ごま、かつお節、ちりめんじゃこを加え、少々加熱して出来上がり。

<補足> 砂糖は三温糖を使用しました。調味料は各自お好みで変えてください。

【自家消費レシピ】○チャンプルー、○チップス、○かき揚げ、○肉詰め、○ピザ、○塩もみおかか和え、

○カレー など

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年09月04日

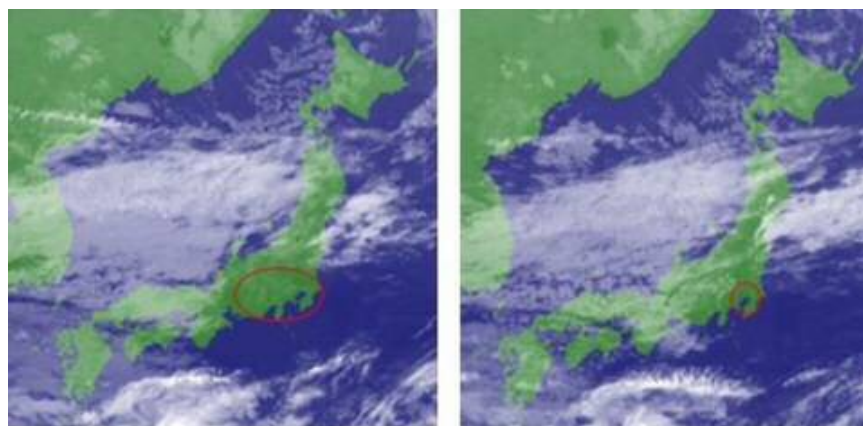
スーパームーン（2015年9月28日） <東京都内で撮影>

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年09月30日

9月28日（月）の夜は、多くの方が大きくて、きれいなスーパームーンを観ることができたと思います。東京では午後8時、10時ともよく晴れていて、お月見を楽しんだ方もいらっしまったのではないのでしょうか。

気象衛星画像 【赤外画像】



下の写真は午後8時（左）と午後10時（右）に撮影した月です。ずいぶん色の違いがあります。



8時では月は低い位置に見えました。月からの光は地球のまわりにある塵や埃がある大気の長い距離を通過してきており、その間に波長の短い（青系統の）光は散乱し、私たちのところまで届かず、波長の長い（赤系統の）光が届くため、月が赤く見えます。

一方、10時では月は高い位置にありました。地球のまわりの塵や埃がある大気の距離は短く、波長の短い光の散乱は少なく、白色の光となって見えます。

また、8時と10時で月の大きさの違いを感じたので調べてみました。

私たちが月を肉眼で見た場合、昇ったばかりや沈む直前で低空にある月は大きく感じるそうです。これは複数の心理学的な効果（錯視的な）が重なったものとのことです。

<参考> 虹



赤 (長い)
↑
波長
↓
紫 (短い)

(環境情報活動センター)

カテゴリ : 平成27年度

投稿日 : 2015年09月30日

『家庭で実践できる草木染』講座に参加しました

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年10月20日

首都大学東京 東京都立産業技術専門学校のオープンカレッジ（公開講座）に参加しました。講師は、同校准教授（工学博士）の田村健治先生です。本講座は全3日間の講座ですが、今回は3回目の応用編だけに参加させていただきました。この講座は「環境にやさしい草木染め」をテーマとして学び、それを活かして実際に草木染めを体験する講座でした。

「環境にやさしい草木染め」とは、◆環境負荷が小さいこと、◆安全性が高い事、◆廃液などの処理が容易であることです。不要なものを可能な限り活用し、危険なモノや、特殊な設備を使わない、一般家庭にあるもので実践でき、日常生活に取り入れることができるということです。

いよいよ草木染め開始です。

(1)布の絞り加工

正方形の木綿の布を写真(A)の様に折り、輪ゴムで強く留めます。留めた部分は染まらない部分になります。

従って、布の折りたたみ方で作品の模様が工夫できます。

(2)煮染液の調製

煮染液の原料としてタマネギの外皮(B-1)と巨峰の果皮(B-2)を使いました。

(A)

(B-1)

(B-2)



(3)染色工程<以下はタマネギの外皮を使った写真です>

(B-1)(B-2)の煮染液中からそれぞれタマネギと巨峰の皮を取り除き、(A)を浸しました。=(C)

(4)媒染工程

今回使った媒染剤はアルミニウムミョウバン、あるいは鉄ミョウバンで、3回媒染しました。=(D)

<写真は煮染液(B-1)で染色した(C)した鉄ミョウバン媒染液(D)で媒染>

(5)後処理

布をよく絞り、軽く水洗いしました。=(E)

(C)

(D)

(E)



(6)作品いろいろ

煮染液の原料（タマネギ、巨峰、緑茶など）と媒染剤の組み合わせ、折りたたみ方によって、写真の様にさまざまな作品ができました。



(7)参加者のみなさん



カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年10月20日

虹と光のふしぎなお話

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年10月27日

9月14日（月）、品川区立二葉保育園（二葉かがく研究所）で「にじとひかりのふしぎなおはなし」がありました。講師は、品川区環境情報活動センターの大島正幸さん（気象予報士）です。

虹が見えるのは、いつ、どんな時でしょう？ みんな元気に手を挙げて答えてくれました。



にじがみえるのはいつ？

- あさ ○
- ひる ○ **おひさまがでているとき**
- よる ×
- はれているとき ○ ただし、あめがふったあと
- くもっているとき ×
- あめがふっているとき ×

お話の後、「虹」（虹の模様）を作る実験をしました。

懐中電灯とCD、鏡・水、プリズムを使って、いろいろな「虹」を見ました。

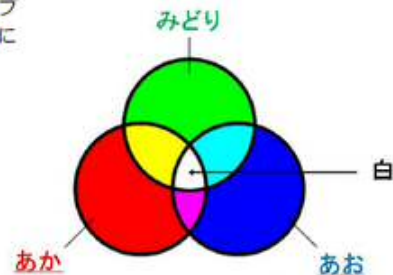
また、不思議なシート（「分光シート」といいます）を通して見ました。



みんな大喜びで「わー！にじだ！」と大感激してくれました。おみやげの分光シートを使って、お家でお父さん、お母さんと一緒に「虹」を見てくれたと思います。

光のジュースのお話

光の3原色（赤・青・緑）のLEDを紙コップに入れました。この3色を一つのコップの中に入れると白色になりました。



カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年10月27日

天気の不しぎと気象実験

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年11月04日

10月17日（土）の午後、浜川小学校の課外授業として「天気の不しぎと気象実験」が開催されました。

同校では今回を含め、今年度9回の「浜川科学教室」を開く予定で、浜川コミュニティースクール（CS）の一環として実施されました。この教室の目的は、楽しい理科の実験をすることで理科離れを防ぎ、理科に興味関心をもてる児童の育成を図っており、成果も上がっているとのことでした。

今回は一般社団法人日本気象予報士会サニーエンジェルス（女性を中心とした気象予報士のグループ）の5名のみなさんが講師となり、4年生30名が出席しました。

●雪の結晶作りの準備

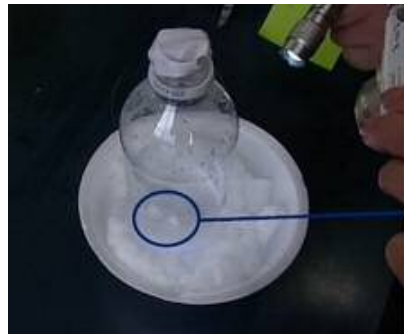
グループに分かれてドライアイスなどを使って雪の結晶作りの準備をしました。結晶ができるまでには多少時間がかかるためです。

●お天気クイズ・・・児童のみなさんは元気よく手を挙げて答えていました。

雲、雨、カミナリ、空気、気圧など、いろいろな話がありました。カミナリの話では、それがどのようにして発生するのか、またカミナリの音が聞こえた時どうしたらよいか、理解できましたね。問題には元気よく答えてくれました。



●全グループで雪の結晶ができました。感激!!!



●ペットボトルで雲を作る実験

透明だったペットボトルの中は、一瞬にして白いけむり（＝雲）になりました。



●気圧を感じてみよう

浅漬け用の容器（減圧できる容器）を使って実験しました。

容器の中の空気を抜いて気圧を下げていくと、容器の中の小さな袋菓子、缶底に小さな穴を開けた缶コーヒー、マシュマロは・・・さてどうなったでしょう？



●さまざまな気象現象のはなし、地球温暖化のはなし、防災のはなしなどに、児童の皆さんは真剣に耳を傾け、問題に答えていました。理科好きの皆さんには楽しく勉強できた一時だったと思います。

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年11月04日

‘エコプロダクツ2015’開催

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年12月21日

12月11日（金）、東京ビッグサイトで開催されていた日本最大の‘参加体験型’環境イベント“エコプロダクツ2015”に行ってきました。地球温暖化の影響で極端な気象現象が増えている今日、その温暖化を緩和するためにも今回のテーマ「（わたしが選ぶ）クールな未来」の実現が求められます。社会科見学の児童・生徒の来場者が非常に多く、賑やかで活気にあふれていました。



今回はパリで開催されていたCOP21とほぼ同時期の開催となり、環境技術イノベーションを世界へと、政府も本腰を挙げて支援しているようでした。華やかで、大きなスペースを占めていたのは自動車・運輸や情報・通信・IT関係でしたが、主に取材対象としたのは以下の3件です。

(1)エネルギー関連では地熱発電に注目しました。割合としてはまだまだ少ないながらも着実に広がりつつある再生可能エネルギーです。火山地帯の地下数kmから十数kmには地下深くから上昇してきたマグマ溜りがあり、その熱で加熱された水は地下貯留槽を形成し、そこまで井戸を掘ることで高温・高圧の蒸気を取り出して発電する仕組みです。日本には数多くの火山があり、総発電電力量はまだ少ないものの、安定して発電ができる純国産エネルギーとして注目されています。

(2)新たな地球温暖化対策技術としてのCCSです。CCSとは、二酸化炭素（Carbon dioxide）を回収して（Capture）、貯留する（Storage）技術です。発電所や工場など、CO₂を大量に排出する施設からCO₂を分離・回収し、それを地中に圧入して、長期間にわたり貯留することにより、大気中へのCO₂の放出を抑制する技術です。IPCCは2050年に温暖化ガスの排出を10年比40～70%減らし、今世紀末にほぼゼロにする必要があるとしています。また今回のCOP21パリ協定では、これまで2℃としてきた地球の気温上昇の幅を1.5℃を目指すことと決めました。今後もCO₂の排出は続くため、これら目標の達成に向かってCCSへ期待を寄せたいと思う一方で、安全面の確保には万全を尽くしてほしいと思います。なお、CCSについては、11月24日の品川区環境情報活動センターで開催された環境学習講座「異常気象と人類の選択」(*)でも、講師の江守正多氏が紹介しておられました。

(*) http://shinagawa-eco.jp/mt_kouza/2015/12/post_265.html

(3)「触れる地球儀」です。リアルタイムでの雲の動きや各地で発生する地震や台風の様子など、現在の地球の姿を見ることができます。また、100年後の地球温暖化のシミュレーションなど、地球全体の環境変動を実感することができます。地球儀を“自分の手”で廻しながら、こういったコンテンツを学ぶことができるという優れたものです。



今回も'オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」'として、品川区も出展しました。また、当日はワークショップ「ペットボトルで“雲”を作ろう」を開催し、小学生から高校生・大人の方まで、33名の参加がありました。雲を作る実験や気圧の高低による袋菓子の袋の変化などで、小学生は驚きを楽しんでいました。一方、どうしてそういった変化が起きるかの質問に、さすがに高校生は正しく答えていました。



カテゴリ: 平成27年度

投稿日: 2015年12月21日

暖かい日が続くしながわ区民公園の今

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2016年01月20日

この冬は異常と言えるほど暖かい日が続いています。月平均気温が平年に比べ0.3～0.4℃高いと平年より高いとのことですが、昨年12月は最高気温が1～2℃高く、相当高い状況です。これはエルニーニョの影響と言われています。



先日、NHK総合テレビの気象情報で、この暖かさのため「植物も混乱！」と、以下のように伝えていました。新宿御苑では、例年であれば既に落ちているはずのカエデの葉が残っていた。晩秋に咲くはずのツワブキが今も咲いており、これから咲くはずのカワズザクラ、春の花ツツジ、サツキも咲いていた。カンザクラが満開など・・・

しながわ区民公園はどうかと思い、訪ねてみました。(1月11日)

新宿御苑のような現象は見られませんでした。水族館前の「上の滝」に藻が異常発生しているとのことでした。藻の発生は例年であれば6月以降に見られるようですが、今年の冬は非常に暖かかったためだろうということでした。近々除去作業をする予定だそうです。



冬の花である「蠟梅(ロウバイ)」が満開でした。時期としては少し早い満開ではないかという人がいましたが、いかがでしょうか。良い香りを漂わせていました。名前に「梅」の字が入っていますが、ウメの仲間ではありません。(ロウバイ科ロウバイ属)

梅はバラ科サクラ属で、サクラの仲間なのです。



ロウバイは葉が落ちてから咲き始めるはずですが、しながわ区民公園のロウバイは、花と葉と一緒に咲く木があるということです。また、今年は落葉を待ち切れずに開花が進んだということもあるようです。

(環境情報活動センター取材)

カテゴリ: 平成27年度

投稿日: 2016年01月20日

マツの孤（こも）巻き

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2016年01月26日

しながわ区民公園には「松」が300本もあり、庭園景観を形作っています。東海道には昔、道沿いに松がありました。しかし道路拡幅や排気ガス、マツクイムシ被害など、時代と共に消えていきました。品川宿にはシンボルとして「松」が植栽されています。

2015年1月の「しながわECOだより」（*）に松の記事がありますので、ご覧下さい。

姫路城では松の「こも巻き」がこの冬から廃止されたそうです。寒さを避けて、こもに虫がもぐりこむので、春に取り去って焼き捨てていました。最近の調査で虫は、松を枯らす「マツカレハ」の幼虫よりも、クモなどの益虫がほとんどということが分かりました。害虫には薬剤で対応することになったそうです。

しながわ区民公園では冬の「風物詩」として今年も「こも巻き」を施しています。どんな虫が越冬しているのでしょうか。確かめてみたいですね。



（*）抜粋

門松を飾って、お正月を迎える習わしは、現代でも続いています。長寿や繁栄の象徴として、尊ばれるためでしょう。

江戸時代、街道筋には松並木が続いていました。四方を海に囲まれた日本では、海岸線が続く風景に松は欠かせません。



品川宿の松

環境省環境カウンセラー 倉田智子様より

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2016年01月26日

関東地方で春一番が吹きました

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2016年02月17日

2月14日（日）、気象庁は関東地方で春一番が吹きました。

春一番とは、立春から春分までの間に最初に吹く強い南寄りの風を言います。日本海で低気圧が発達することによって生じる暖かい南寄りの強い風（最大風速が風速8.0m/s程度以上）のことです。

この風によって、海難事故や雪解けによる洪水やなだれ、また日本海側の地方ではフェーン現象で大火などを引き起こすことがあります。

（図1）天気図



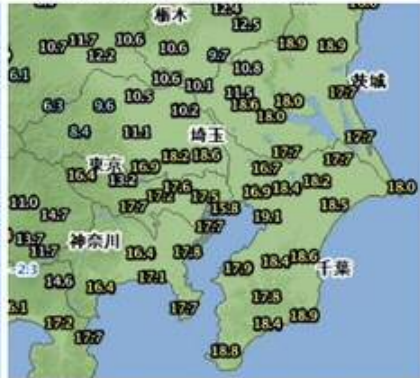
【春一番の条件】

- ①立春から春分まで・・・2月14日
- ②日本海に低気圧・・・図1
- ③南寄りの風・・・図2
- ④強い風・・・図2
(最大風速8m/s程度以上)
- ⑤気温が高い・・・図3

（図2）風向・風速（m/s）/アメダス



（図3）気温（℃）/アメダス



<2016年2月14日午前9時>

出典：気象庁

春一番が吹いた日を過去（1951～2016年）66年間の記録で見ると、2月下旬が中心のようです。

春一番が吹かなかった日が10日もあるのですね。

【春一番が吹いた日（1951～2016年）】

- 2月 3～11日（9日間）・・・9回
- 2月 12～20日（9日間）・・・11回
- 2月 21～29日（9日間）・・・15回
- 3月 1～10日（10日間）・・・12回
- 3月 11～21日（11日間）・・・9回
- 春一番が吹かなかった年・・・10回

最も早く吹いた日・・・1988年/2月5日

最も遅く吹いた日・・・1972年/3月20日

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2016年02月17日

マンションでのきれいな「ごみ出し」

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2016年02月19日

環境情報活動センター発行の季刊紙「ECOだより」の愛読者から、あるマンションにおけるきれいな「ごみ出し」やペットボトルのキャップ回収について投稿がありましたので、お話を伺いに行きました。

【投稿記事】

そのマンションは「プライム東大井」（品川区東大井1-8-5/66世帯）で、管理員をされている杉浦富美夫さんを訪ねました。杉浦さんはマンション管理会社である株式会社エードの管理部に所属し、平成22年7月からこの仕事をしていらっしゃいます。

杉浦さんが着任した当時の状況は、ごみ集積場内はポリバケツを移動するとゴキブリの大群が移動し、集積場内もごみ特有の臭いがしていました。また、ごみはエントランス前の公道に出していますが、ごみの臭いとカラスが散乱したごみで通行人に迷惑をかけていました。

杉浦さんは以前スーパーに勤務しており、ごみ集積場の臭い対策としてごみ袋を二重にしていたので、ごみ集積場に積み置く時も二重にして収納したところ臭いはなくなり、ゴキブリは一匹もいなくなり、今ではカラスによるごみ散乱もなくなったそうです。

ごみ収納時はスペースの関係でペットボトルの胴部はつぶし、キャップは小学校や中学校に届けています。平成22年7月から平成28年1月までの5年半に届けたキャップの数は16万個、重量は400kgで、ワクチンを400本寄贈したことになり、「プライム東大井」管理組合から世界にメッセージを送っていると思っています。また、居住者の神久（しんく）様には、5年半にわたり学校への寄贈にご協力いただき、心より感謝しているとお話でした。

きれいな街づくりに少しでもお役に立ちたいとお考えでした。

なお、近くのマンションの清掃員や管理組合の理事の方が「プライム東大井」の清掃状況の見学に来ておられるそうです。

【お邪魔して詳しくお話を伺いました】

<分別の方法>

（写真左）「資源ごみ」：新聞、雑誌、段ボール

（写真中左）ペットボトルやプラスチック容器を入れるポリバケツ

（写真中右）「生ごみ」：各家庭から出た袋に入った生ごみを、厚手の袋の中に入れる（二重の袋）ことにより、臭いの発生を抑えている。さらに袋の中に消臭剤を噴霧している。

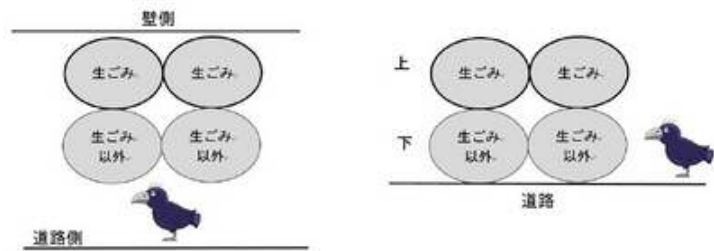
（写真右）「資源ごみ」：スチール缶、アルミ缶、ビンを入れるポリバケツとプラスチックコンテナ



コンクリートの床に防水処理を施し、水洗いができるようにして清潔さを保っている。

<カラス対策>

生ごみをつつきにくるカラスを、こんな方法で寄り付かなくしました。



なぜ、これでカラスが来なくなったのか？杉浦さんの経験から言うと、カラスは地面に足がついていないと安心して食べ物をつつくことができないのではないかということでした。どうでしょうか？

<マンションの周辺のごみを無くすようにしました>



(写真右) 今日生ごみを出す日。杉浦さんが運んでいる生ごみの袋に臭いはありません。

角地にあるマンションの道路側の2面(写真左・中)を毎日きれいに清掃しています。特に通勤時にはきれいにするようにしたところ、ごみが少なくなったそうです。人はきれいなところにはごみを捨てられないのですね。

カテゴリ : 平成27年度

投稿日 : 2016年02月19日

みんなで地域清掃活動

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2016年02月22日

都営東品川第三アパート自治会では、平成26年からアパート周辺の清掃活動を実質的に開始しました。

今では年3回、アパート前の天王洲通り約500mの清掃を行っています。同アパートは2棟あり、全体で約170世帯が住んでいますが、その中の30世帯ほどが清掃活動に参加しています。

この活動を始めたきっかけは、自然に沸き上がった声でした。「楽しみながら体を使おう」、「多少腕が不自由でも、もう一方の腕があるではないか、リハビリ感覚でやろう」、「はじめての地域貢献活動だ」、「ボランティア活動をしよう」、「でも、活動頻度はあまり多くない方がよい」、「少しずつ回数を増やしていけばよい」など、多くの意見が出ました。

清掃では、大きなごみを拾うことにしています。徹底して小さなごみ拾いまで行くと、この活動は長続きしません。たばこのポイ捨てはまだありますので、これも拾います。道路沿いの草むしりをする人もいますが、あまり無理をしないように、会話を楽しみながらの清掃活動です。充実したひと時になっているとのことでした。

平成26年9月28日 自治会清掃活動発足会



平成27年9月27日 清掃活動風景



カテゴリ：平成27年度

投稿日：2016年02月22日

桜の開花日予想（3月2日までのデータによる）

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2016年03月03日

桜の開花日を予想する方法に「400℃の法則」と「600℃の法則」というものがあります。

「400℃の法則」とは、2月1日以降の毎日の平均気温を足して累計値が400℃に達した頃に桜が開花するという法則です。

また「600℃の法則」とは、同じように毎日の最高気温を足して、累計値が600℃に達した頃に桜が開花するという法則です。

それでは、東京の2011年以降のデータを見てみましょう。

	実際の開花日	平均気温 (400℃)	同誤差	最高気温 (600℃)	同誤差
2011年	28日	26~27日	1~2日	24~25日	3~4日
2012年	31日	28~29日	2~3日	28日	3日
2013年	16日	19日	3日	18~19日	2~3日
2014年	25日	25~26日	0~1日	25日	0日
2015年	23日	25~26日	2~3日	22日	1日
2016年 (予想)	?	(20日)		(17~18日)	

この5年間のデータでは、実際の開花日との誤差は0~3日となっており、「法則」というだけあって比較的正確と見て良いのではないのでしょうか。

問題は今後の気温予想です。

<開花日の予想>

民間気象サービス（気象情報を提供している企業やNPO）が予想する3月上旬の気温（最高・最低）と、その後は平年のデータから、上記の法則を使って予想しました。

- ・平均気温（400℃の法則）では3月20日
- ・最高気温（600℃の法則）では3月17~18日となりました。

3月上旬の予想気温が高いため、19日からの3連休中、あるいはその前に開花の発表があるのではないのでしょうか。

ちなみに、民間気象サービスの発表では、開花は3月21日から24日の間に分かれています。（3月2日以前の発表）

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2016年03月03日

しながわ中央公園の春

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2016年03月10日

今、区役所前のしながわ中央公園のハクモクレンが満開です。これから各地で見られる花ですが、写真は3月8日に同公園で撮ったもので、私のほかに2~3の方が写真撮影をしていらっしゃいました。白い清楚な花で厚みがあり、どっしりと構えた姿は、同じく早春の花である梅とは趣を異にします。同公園の梅は紅梅で、写真は1月半ほど前の1月下旬に撮影した写真ですが、満開の一手前です。ハクモクレンが開花しているときの風景は、白い小鳥がいっぱい木にとまっているように見えると書いてあるものがありましたが、確かにそうですね。1~2月の梅、3月に入った今の時期のハクモクレン、3月下旬の桜と、しながわ中央公園では季節の変化を、咲く花で感じることができます。



環境情報活動センター

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2016年03月10日

「山中おやこエコクラブ」で気象実験

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2016年03月16日

1月30日（土）山中小学校「山中おやこエコクラブ」で、お天気講座「天気のおしごとと気象実験」が開催されました。同クラブは、山中小学校の児童と保護者・先生が一緒になって活発なエコ活動を行っており、平成23年度、26年度の“しながわ環境大賞”をはじめ、環境に関わる活動で数々の受賞実績があります。

同クラブは、年間を通じた菜園活動と、概ね月1回、エコに関わるイベントを行っており、今回は一般社団法人日本気象予報士会気象実験クラブ代表の佐藤元氏はじめ、4名の気象予報士のみなさんが講師となり、1～6年生39名と保護者29名、また田邊校長先生、東田副校長先生も参加して頂きました。

はじめにいろいろな雲のお話があり、それに続いて実験がスタートしました。



(1) 積乱雲（入道雲）を作りました。



ビーカーに水を入れ、ピペットで牛乳を少しずつビーカーの底に入れました。牛乳は水より重いので、ビーカーの底に沈みます。アルコールランプの炎をビーカーの底にピンポイントで当てると、液（水+牛乳）は対流が起り、「白い雲」（のように見える）がもくもくとビーカーの中を上昇しました。

(2) 雨を降らせました。



ビーカーに少し水を入れ、アルコールランプで熱しました。ビーカーの上の透明容器には8個の画鋸を刺し、冷凍庫で作った氷と少しの水を入れました。その様子が上左の写真です。しばらくすると上の容器に刺した画鋸（容器の底に突き出ている）の先に水滴がついてきました。これが「雨粒」です。

(3) 渦（たつまき）を作りました



乾かしたコーヒーかすと水をビーカーに入れ、攪拌棒でゆっくり、大きくかき混ぜてコーヒーかすをビーカーの底に沈めました。今度は攪拌棒をビーカーの真ん中で小さく、速く回転させると、ビーカーの真ん中には渦ができ、コーヒーかすが「たつまき」のように上の方に上がっていきました。

(4) 実験した後

実験で見たこと、聞いたこと、感じたことを書き、発表しました。

(シートに書いてくれた児童と、発表している児童は別の児童です)



(5) まとめ

実験が始まる前は、教室の中で雲を作る？ 雨を降らせる？ たつまきを起こす？ どうやって？・・・

さすがに教室でそのもの自体を作ることはできません。しかし、そのでき方を知れば、いろいろな実験器具を使ってできることや、自然の不思議を学びました。

「今日の実験、楽しかった人？」の問いかけに、全員が元気に手を挙げてくれました。みんな、理科が好きになってくれるかな？

この教室は、'N P O法人エコタウンしながわ'の企画でした。

カテゴリ : 平成27年度

投稿日 : 2016年03月16日

桜の開花日予想と検証

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2016年03月24日

3月21日、東京の桜の開花が発表されました。平年より5日、昨年より2日早い開花でした。東京では靖国神社境内の標本木の桜が5輪以上開花したことを気象庁職員が観察した時に、開花したと発表します。

桜の開花日を予想する方法として「400℃の法則」と「600℃の法則」があることを、このホームページ（ECOトピックス）上で3月3日にご紹介しました。

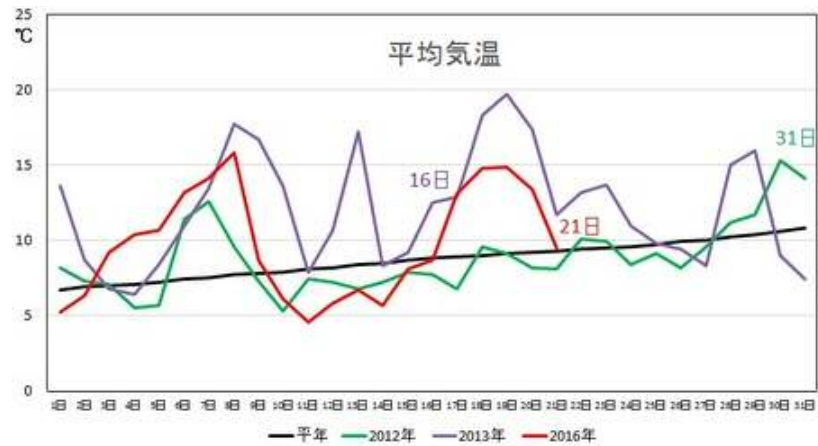
http://shinagawa-eco.jp/mt_coto/2016/03/32_1.html

この時点では、「400℃の法則」で3月20日、「600℃の法則」、3月17～18日と予想しました。改めて東京の2011年以降のデータを見てみましょう。（2016年も結果）

	実際の開花日	平均気温(400℃)	同誤差	最高気温(600℃)	同誤差
2011年	28日	26～27日	1～2日	24～25日	3～4日
2012年	31日	28～29日	2～3日	28日	3日
2013年	16日	19日	3日	18～19日	2～3日
2014年	25日	25～26日	0～1日	25日	0日
2015年	23日	25～26日	2～3日	22日	1日
2016年	21日	20日	1日	18日	3日

この6年間のデータでは、実際の開花日との誤差は0～3日となっており、今年は平均気温(400℃)で誤差が「1日」でした。

今年の3月は、平年に比べ暖かい日が多かったようです。また、近年での早く開花した年は2013年ですが、この年は今年よりも気温が高い日が多かったです。一方、遅かった2012年は中旬から下旬にかけて低温が続いていました。



カテゴリ：平成27年度

投稿日：2016年03月24日